

氏名 中村 丁次 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 著者代表：中村丁次。(2017.2)。共著者：小野章史、杉山みちこ、鈴木志保子、外山健二。第1章 人間栄養学と看護 A 栄養を学ぶということ。P2-7 B 保健・医療における栄養学。P8-10。C 看護と栄養。P12-15。系統看護学講座。専門基礎分野。栄養学。人体の構造と機能③。第12版。第3刷。医学書院
- 2) 著者：中村丁次 (2017.2)。共著者：門田佳子、鈴木志保子、戸田和正、森田雅之。看護師の教育、養成の教科書。食生活と栄養。第1章 食生活・栄養と看護。p181-190。第2章 栄養素の種類とはたらき p192-204。新看護学3 専門基礎3 薬物と看護 食生活と栄養。第15版。第3刷。医学書院
- 3) 共著者：足立己幸、石田均、奥田豊子、押野榮司、香川靖雄、岸恭一、志村二三夫、伊達ちぐさ、田中弘之、中村丁次他。管理栄養士養成糧におけるモデルコアカリキュラム 2015 準拠。3 管理栄養士の歴史 P46-49。1) 栄養士の誕生と栄養改善活動のはじまり 2) 栄養士制度と栄養改善活動 3) 管理栄養士制度と期待される活動 導入教育第2版。信頼される専門職となるために。第0巻 第2版。第2刷。医歯薬出版株式会社

2 学術論文

- 1) 中村丁次。(2016.4)。予防医学と食生活。Animus No.87。spring2016。ISSN1342-0119。22-24
- 2) Teiji Nakamura。(2016.6)。Searching for a long healthy life「健康長寿の探求」。Spotlight on Food Science in Japan。P12-13。nature。Vol.534。No.7606。THE INTERNATIONAL WEEKLY JOURNAL OF SCIENCE。
- 3) 中村丁次。倉貫早智。栄養ケアステーションでの機能性農産物認知活動について (2016.12)。JATAFF ジャーナル。第4巻。第12号。公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会。
- 4) 中村丁次。(2017.1)。2025年超高齢化社会における管理栄養士・栄養士の役割と期待。月刊日本栄養士会雑誌。公益財団法人日本栄養士会 2017JANUARY。Vol.60。3-8。
- 5) 中村丁次。(2017.1)。食育にも微妙なさじ加減。日本食育学会誌創立10周年記念号。第11巻。第1号。巻頭言。
- 6) 山本万里、廣澤孝保、三原洋一、倉貫早智、中村丁次、川本信一、大谷敏郎、田中俊一、大橋靖雄。(2017.1)。「機能性農産物を使用した機能性弁当の内臓脂肪等メタボリックシンドロームへの影響を検証するヒト介入ランダム化プラセボ対照比較実験」。日本食品工業学会誌。64(1)、23-33。
- 7) 中村丁次。(2017.3)。EBMの陰り。神奈川保健福祉大学誌。2017年第14巻。第1号。

- 8) 外山健二、向井友花、杉山みち子、五味郁子、駿藤晶子、高田健人、古谷野伸、中村丁次。(2017.3). ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケアマネジメント及び給食管理の実態. 神奈川県立保健福祉大学誌. 14(1):35-42.

3 その他の著作

- 1) 中村丁次。(2016.4). 栄養の恩恵は、平等に。週刊保健衛生ニュース。第 1856 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 2) 中村丁次。(2016.6). 「フレイル」予防の栄養学—健康寿命延伸のために—。健康かながわ。P 1。公益社団法人神奈川県予防医学協会。
- 3) 中村丁次。(2016.6). 手術でメタボの治療。週刊保健衛生ニュース。第 1863 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 4) 中村丁次。(2016.6). 健康への総合的なアプローチ～イニシアチブとパースペクティブ。ISHOKU DOGEN. The cultural link between Health and food in Japan.
- 5) 中村丁次。(2016.7). 食事療法とフレイル予防。通信月報 病院経営管理。平成 28 年 7 月号。巻頭言。日本病院会通信教育。
- 6) 中村丁次。(2016.8). 全粒穀物をとる意義をもう 1 度考える。週刊保健衛生ニュース。第 1870 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 7) 中村丁次。(2016.9). 父親の食事も子どもの健康に影響するかも。週刊保健衛生ニュース。第 1877 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 8) 中村丁次。(2016.10). 細谷憲政先生追悼文。栄養学雑誌。Vol.74. No.5. 特定非営利活動法人日本栄養改善学会
- 9) 中村丁次。(2016.11). 高齢化した糖尿病患者の食事療法。週刊保健衛生ニュース。第 1884 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 10) 中村丁次。(2016.11). 2 型糖尿病のリスクが調理変化で変わる。厚生福祉。第 6286 号。時事通信社。
- 11) 中村丁次。(2016.12). 細谷憲政先生追悼文。日本臨床栄養学会雑誌。Vol.38. No.4.
- 12) 中村丁次。(2017.2). 腹八分目は本当に医者いらずの長寿食か?。週刊保健衛生ニュース。第 1898 号。ヘルス・アイ。P 64。社会保険実務研究所。
- 13) 中村丁次。(2017.3) 健康長寿の食事～体にも、生活にも、地球にも、優しい食事とは～。けんこうぶんか。No.55. 16-25. 一般財団法人日本健康文化振興会

4 学会等での活動

- 1) 中村丁次。臨床栄養実践の問題点と、あるべき姿に向けて。病院管理栄養士活動推進研修会。一般社団法人日本臨床栄養学会。東京。(2016.4)。
- 2) 中村丁次。健康寿命の延伸のためのスポーツ栄養の役割と実践。日本スポーツ栄養学会第 3 回大会。特別講演。愛媛。(2016.7)。
- 3) 中村丁次。外科栄養学の進歩により、栄養学の基本的問題を解決する。日本外科代謝栄養学会第 53 回学術集会。東京。(2016.7)。
- 4) Teiji Nakamura. Nutritional Roles in Prevention and Care of Diseases. History of Nutrition Practice in Japan. Epidemiology, Disease and Nutrition.

Malnutrition. Dietetics in hospitalized Patients. Practice of clinical nutrition. ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学講義. ベトナム. (2016.9.19～23).

- 5) 中村丁次. 「人はなぜ栄養を考えて食べるのか」. 第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 特別講演. (2016.11).
 - 6) Teiji Nakamura. 「日本の最新栄養学と今後の展望について」. 中国糧油学会糧油栄養分会. 講演. 北京. (2016.12).
 - 7) 中村丁次. 栄養アセスメントと栄養診断. 第32回日本静脈経腸学会学術集会. 教育講演. 岡山. (2017.2).
- 5 学会, 協会, 公的団体の委員など
- 1) 公益社団法人日本栄養士会名誉会長 2012. 6～
 - 2) 一般社団法人日本栄養学教育学会理事長 2013. 9～
 - 3) 日本臨床栄養学会副理事長 2014. 1～
 - 4) 一般社団法人日本食育学会常任理事 2013. 4～
 - 5) 一般社団法人日本予防医学会理事 2012. 9～
 - 6) 日本肥満症治療学会理事 2014. 2～
 - 7) 日本静脈経腸栄養学会名誉会員 2015. 2～
 - 8) 一般社団法人日本統合医療学会「100人委員会」委員 2016. 12～
 - 9) ME-BYO サミット実行委員会委員 2016. 4～
 - 10) ダノン国際研究財団理事 2012. 5～
 - 11) 牛乳乳製品健康科学会副代表幹事 2012. 3～ 他

8 社会貢献

- 1) 鎌倉市食育推進会議会長 2012. 4～
- 2) 横浜市食の安全・安心推進横浜会議会長 2012. 6～
- 3) 神奈川県医食農同源研究会会長 2012. 8～
- 4) 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金運営委員長 2015. 3～
- 5) 特別用途食品制度に関する検討会座長(消費者庁)2016. 1～
- 6) 「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」中間・事後評価委員長 (厚生労働省) 2015. 10～

9 講演, 放送

- 1) 中村丁次. 機能性食品の知識と臨床応用. 第3回一般社団法人臨床栄養実践協会講演. (2016.4).
- 2) 中村丁次. 特別用途食品の現状と未来～高齢者食・介護職を中心に～Ifia/HFE JAPAN2016. (2016.5).
- 3) 中村丁次. 糖尿病の食事療法と健康な食事のありかた. 第4回チーム医療連携の会～スタッフのための糖尿病教室～. 特別講演. (2016.5).
- 4) 中村丁次. 管理栄養士・栄養士の職業倫理・専門職として. 公益社団法人島根県栄養士会研究会. (2016.5).

- 5) 中村丁次. 健康寿命の延伸を目指し、新たな栄養問題へ挑戦する. 平成 28 年度大分県栄養士会定時総会. 特別講演. (2016.6).
 - 6) 中村丁次. 新たな栄養問題と対処法～関連職種との連携の中で管理栄養士・栄養士の役割は何か～. 平成 28 年度岡山県栄養士会定時総会. 特別講演. (2016.6).
 - 7) 中村丁次. 栄養ケアプロセスの概要とポイントについて. 平成 28 年度新潟県栄養士会. 生涯教育研修会. 基本研修第 5 回. (2016.8)
 - 8) 中村丁次. 食からの未病対策. 第 10 回東京栄養士薬膳研究会特別講演会. 都民の健康づくり運動未病対策～西洋医学と中医学からの検討～. (2016.9).
 - 9) 中村丁次. 栄養管理(ケア)プロセスの意義. 全国栄養改善大会. 生涯教育基本研修 (2016.10).
 - 10) 中村丁次. 高齢者 2 型糖尿病治療の適切な食事療法. 第 18 回神奈川糖尿病治療セミナー「高齢者の糖尿病治療」. (2016.11).
 - 11) 中村丁次. 和食を中心とした献立の提供と栄養管理の在り方. 第 67 回全国給食研究協議大会. 第 6 分科会. 講演. (2016.11)
 - 12) 中村丁次. 栄養アセスメントから栄養診断への展開. 第 61 回秋田県栄養士会栄養指導技術研修会. 講演. (2016.11)
 - 13) 中村丁次. 「栄養管理と栄養診断」. 第 6 回福井県栄養士会 栄養管理・食育研究会. 特別講演. (2016.11)
 - 14) 中村丁次. 栄養学が歩んだ道とこれからの道. 関東学院人間環境教養学会主催講演会. (2016.12).
 - 15) Teiji Nakamura. 「Why Japanese breakfasts are superior for healthy longevity」. “The Appeal of Wachoshoku”. Special Event for Foreign Press in Japan. Special Lecture. (2017.2)
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次, 五味郁子. クロレラ食品の栄養状態改善の有効性に関する研究. サンクロレラ受託研究. 10,634 千円. 2013.5.27~2017.3.31
 - 2) 外山健二, 倉貫早智, 中村丁次. 神奈川県内在住高齢者を対象とした MSG 摂取と健康食生活調査及びその評価研究. 味の素イノベーション研究所. 2,000,000 円 2015.3.~2017.3.

杉山 みち子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 杉山みち子 栄養教育の概念、高齢者期の栄養教育の留意事項、事例：地域包括支援センターから依頼された後期高齢者の訪問栄養教育(長瀬香織と共著)、障がい者の栄養教育(藤谷朝実、林純平、服部和美、飯田綾香との共著)。栄養教育論。杉山みち子、赤松理恵、桑野稔子編、1-8, p152-157、174-195、カレント栄養教育論.建帛社.
- 2) 長瀬香織、高田健人、杉山みち子 (2016) .5章8「超高齢者のための食事・栄養」.女性医療の全て.258-259. 株式会社メディカルレビュー社

2. 学術論文

- 1) Takada K, Tanaka K, Hasegawa M, Sugiyama M, Yoshiike N (2017). Grouped factors of the “SSADE; Signs and Symptoms Accompanying Dementia while Eating” and nutritional status: an analysis of older people receiving nutritional care in long-term care facilities in Japan. International Journal of Older People Nursing, DOI: 10.1111/opn.12149
- 2) 大原里子、高田健人、吉池信男、杉山みち子、則武加奈子、礪波健一、品田佳世子、河口陽子、荒木考二、俣木志郎、小山秀夫.咀嚼機能が低下した要介護高齢者における栄養改善と義歯使用およびきざみ食の関連について.厚生学 63(15). 37-44. 2016.
- 4) 外山健二、杉山みち子、五味郁子、藤谷朝実、向井友花 (2017) .海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践 実施報告書.52頁.公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金普及啓蒙活動助成部門.
- 5) 杉山みち子(委員長) ,小山秀夫、加藤昌彦、榎裕美、宇田淳、高田和子、高田健人、大原里子、遠又靖丈、長瀬香織、荻部康子、堤亮介、松山紗奈江、藤川亜沙美他 (委員) (2017).介護保険施設における重点的な栄養ケア・マネジメントのあり方に関する調査研究事業報告書,日本健康・栄養システム学会.178 頁. 平成 28 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金 (老人保健健康増進等事業分) 介護保険施設における重点的な栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究報告書.52 頁.日本健康・栄養システム学会.
http://j-ncm.com/pdf/H28mhlw_Repo20170405.pdf

4 学会等での活動

- 1)杉山みち子(2016). 臨床栄養師育成の意義と現状、今後の課題：制度発足の背景・概要・育成状況. リレー講演 第 16 回日本健康・栄養システム学会(福岡).6.25.
- 2) 長瀬香織、オクタウィジャヤ イスハク ハリム、高田健人、杉山みち子、田中和美、磯部壮一郎(2016) 「大和市の食欲低下に及ぼす生活機能要因、食環境要因について」日本健康・栄養システム学会第 16 回大会(福岡).6.25.
- 3) 外山健二、五味郁子、向井友花、駿藤晶子、杉山みち子、中原慎二、山本茂、中村丁次(2016).ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学・栄養教育関連分野の教育支援の方法と課題. 第 5 回日本栄養学教育学会学術総会 (青森) .9.10.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会副委員長、専門部会委員長 年2回程度出席し、高齢者の介護予防、保健福祉計画評価・推進に努めた。
- 2) 日本健康・栄養システム学会理事 年2回の理事会に出席し、臨床栄養師研修運営担当として臨床栄養師の育成に努めた。

6 学内教育活動

- 1) 栄養管理概論、栄養教育総論・各論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習、臨床栄養学臨地実習、栄養学(看護学科)、栄養ケア・マネジメント特論・栄養ケア・マネジメント演習(大学院)、栄養ケア・マネジメント課程(実践教育センター)
- 2) 卒業論文指導：婁欣「中国高齢者における栄養障害に関する文献レビュー」、福田嶺樹「地域在住高齢者の低栄養に関連する環境要因の文献レビュー」、村井夏子「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくりに関する研究—ストラクチャー・プロセス評価」、出口瑞穂「障害児・者の栄養ケア・マネジメントに関する文献レビュー」
- 3) 修士論文指導：藤川亜沙美、「介護老人保健施設入所高齢者の栄養ケア・マネジメントに効果的なミールラウンドに関する横断的・縦断的研究」、松山紗奈江「介護保険施設における在宅復帰及び経口維持による看取り支援のための栄養ケア・マネジメントに関する研究」
- 4) 博士論文指導支援：古明地夕佳「在宅サービス利用高齢者における低栄養状態と予後に関する研究」(共立女子大学大学院)

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会委員 2016.4～2017.4
- 2) 総務企画委員会委員 2016.4～2017.4.
- 3) カリキュラム委員会委員 2016.4～2017.3
- 4) 大学院博士課程設置検討委員会 2016.4～2017.3
- 5) メディカル・イノベーションスクール設置専門部会委員 2016.11～2017.3

8 社会貢献

- 1) 地域包括ケアシステムにおける栄養ケアの連携・協働を推進するために、大和市鶴間地区のモデル事業、横須賀市栄養士連絡協議会、低栄養実践教育センター卒業生による障害者施設栄養士勉強会を指導及び支援した。

9 講演，放送

- 1) 平成28年度介護保険制度改正の経口維持、経口移行体制に対応するための啓発活動をおこなった。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 高田健人、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、中村丁次との共同研究事業)：神奈川県健康団地未病(低栄養)対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究 (初年度 2,807 千円) ※28-30 年

度の3年間の継続事業

鈴木 志保子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 岡田隆夫, 美田誠二, 三輪一智, 鈴木志保子, 他多数 (2016). 2017 版系統別看護師 国家試験問題集 必修問題・過去問題・国試ででた BOOK. 東京: 医学書院 P.50-P.58
- 2) 杉山みち子, 赤松利恵, 桑野稔子, (編著) 藤沢由美子, 須永美幸, 多田由紀, 秋吉美穂子, 榎裕美, 五味郁子, 井上久美子, 梅木陽子, 大山珠美, 森口里利子, 長屋郁子, 井上広子, 大和孝子, 堤ちはる, 坂本達昭, 加藤久美子, 鈴木志保子. (2016). カレント栄養教育論 第 11 章アスリートの栄養教育 p.189-p.195. 東京: 株式会社建帛社
- 3) 関田史保子, 石崎朔子, 齋藤愛児, 桂良太郎, 入澤充, 白石豊, 鈴木志保子, 臼井俊範, 夏井裕明, 泉原嘉郎, 有吉与志恵, 亀井由美, 臼井千奈美, 吉岡紀子, 小野田桂子, 高橋弥生 (2016). 新体操教本 I-7 スポーツ栄養学 p.49-p.57. 東京: 公益財団法人 日本体操協会

2 学術論文

- 1) 鈴木志保子. (2016). 「アスリートへの栄養サポート現場での ICT の活用」. 臨床栄養, 128(5), 605-608.

3 その他の著作

- 1) 鈴木志保子, サルコペニア予防に”栄養素と運動を“ 健康産業流通新聞 第 918 号 東京: 健康産業流通新聞社
- 2) 鈴木志保子, 近未来スポーツビューティーとは スポーティライフ 03spring2016. 東京: 食品化学新聞社
- 3) 鈴木志保子, 今日から始めるスポーツ栄養 スポーツをもっと楽しくもっと効果的に健康増進のしおり 2016-1. 東京: 日本栄養士会
- 4) 鈴木志保子, きちんと摂りたいたんぱく質 Sports Graphic Number Do vol.26 東京: 文藝春秋(監修)
- 5) 鈴木志保子, 朝ごはんはエネルギー補給 体と心保健総合大百科 小学校保健ニュース・心の健康ニュース縮刷活用版 2016 小学校編 東京: 少年写真新聞社
- 6) 鈴木志保子, 朝食は体のシステムをオンにするスイッチ 横高 PTA JOURNAL122 神奈川: 神奈川県立横須賀高等学校 PTA
- 7) 鈴木志保子, 毎日の食生活を見直して仕事に恋に効くカラダになる! 健康増進のしおり 2016-3. 東京: 日本栄養士会

4 学会等での活動

教育講演

- 1) 鈴木志保子, (2016). 女性とスポーツ. 神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会 2月4日 (ワークピア横浜)

シンポジスト

- 1) 鈴木志保子, (2016). 楽しくスポーツをして、しっかり食べて、強くなるろう！. 日本スポーツ栄養学会第3回大会 市民公開講座 7月2日 (松山市総合コミュニティーセンター)
- 2) 鈴木志保子, (2016). 肥満改善を効果的に進めるための教育. 第37回日本肥満学会 10月7日 (東京ファッションタウンビル)

発表

- 1) 平尾朋美, 鯉川なつえ, 鈴木志保子, 桜庭景植. (2016). 大学女子駅伝ランナーにおける Female Athlete Triad のリスク調査. 女性スポーツ研究センター 平成27年度研究報告会兼第2回外部評価委員会
- 2) 佐藤郁子, 牛込恵子, 鯉川なつえ, 池畑亜由美, 新井彬子, 鈴木志保子. (2016). 女性アスリート外来受診者における受診時の栄養素等摂取状況に関する研究. 女性スポーツ研究センター 平成27年度研究報告会兼第2回外部評価委員会
- 3) 佐藤郁子, 牛込恵子, 鯉川なつえ, 池畑亜由美, 鈴木志保子. (2016). 女性アスリート外来受診者の月経状況と栄養状態・意識等に関する研究. 日本スポーツ栄養学会第3回大会
- 4) 中西朋子, 吉川達哉, 樋口良子, 鈴木志保子. (2016). 幼児の体力と睡眠に関する研究. 日本スポーツ栄養学会第3回大会
- 5) 佐藤郁子, 牛込恵子, 鈴木志保子. (2016). 女性アスリート外来受診者の体型と栄養状態・意識等に関する研究. 第63回日本栄養改善学会学術総会
- 6) 中西朋子, 樋口良子, 川久保 清, 鈴木志保子. (2016). 幼児の睡眠に関する研究. 第63回日本栄養改善学会学術総会

コーディネーター

- 1) 鈴木志保子. (2016). 学校給食からの食育を考えよう. 横須賀市職員組合・自治研究集会食文化会「第26回学校給食展」 9月3日 (パネリディスカッションコーディネーター)
- 2) 鈴木志保子. (2016). 女性ジュニアアスリートの発育・発達を考える. 第63回日本栄養改善学会学術総会 9月8日 (ワークショップコーディネーター)

座長・指導助言者

- 1) 鈴木志保子 (2016) 「スポーツ栄養から考える、現代のアスリートのための食育」, 日本栄養士会第37回健康づくり提唱のつどい 4月7日 (シンポジウム座長)
- 2) 鈴木志保子 (2016) 「乳酸菌のあらたな可能性～ヨーグルトの免疫効果への期待～」, 日本スポーツ栄養学会第3回大会 7月2日 (セミナー座長)
- 3) 鈴木志保子(2016)「第57回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第4分科会個別指導 肥満・やせ傾向等」8月4日 (指導助言)
- 4) 鈴木志保子 (2016) 第36回横須賀市体力づくり実践研究発表大会 1月20日 (指導助言)

5 学会，協会，公的団体の委員など

所属している学会

日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、日本体育学会、日本運動生理学会、
日本栄養改善学会、日本肥満学会、日本発育発達学会、日本スポーツ栄養学会、
NSCA ジャパン日本ストレングス&コンディショニング協会、日本公衆衛生学会、
日本学校保健学会、日本栄養学教育学会、日本生理人類学学会、スローカロリー研究会、
日本スポーツパフォーマンス学会、日本保健福祉学会、日本小児保健協会

1) 評議員(代議員)

日本運動生理学学会 2002～、特定非営利活動法人日本栄養改善学会 2002.12～、
一般社団法人日本体力医学会 2003.10～、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会
2004.10～、一般社団法人日本肥満学会 2011.1～、公益財団法人三菱養和会 2011.6
～、一般社団法人日本栄養学教育学会(代議員) 2013.9～

2) 特定非営利活動法人 NSCA ジャパン日本ストレングス&コンディショニング協会 編集委員会委員 2007.4.～

3) NPO 法人日本スポーツ栄養学会(2014.12 まで日本スポーツ栄養研究会) 理事 2007.6～

4) 公益社団法人日本栄養士会 理事 2014.6～

5) 一般社団法人日本肥満学会生活習慣病改善指導士カリキュラム委員会委員 2011.5～

6) 横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会委員 2011～

7) 横須賀市スポーツ推進審議委員会委員 2012.4.1～

8) 順天堂大学 女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートのコンディショニング管理 に関する研究 研究員 2014.9～

9) 公益財団法人日本体育協会 スポーツ医・科学専門委員会委員 2015.7.10～

10) 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導研究助成事業に係る選考委員会委員 2015.12～

11) 神奈川県スポーツ局スポーツ課 3033 生涯スポーツ推進会議委員 2016.6～2018.3.31

12) 文部科学省「これからの養護教諭・栄養教諭の在り方に関する検討会議」委員 2016.7.20～

13) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「持続可能な 調達ワーキンググループ」特別委員 2016.8.26～

14) 横浜市学校保健審議会会長 2017.1.15～

6 学内教育活動

1) 応用栄養学実習における教材作成と新規授業内容の検討

2) スポーツ栄養学における事例資料の作成

3) 横須賀市との連携 市民大学での「バランスの良い食事から考える生活習慣病予防」 の講演.2016.8.16

7 学内各種委員会活動

- 1) カリキュラム委員会委員、2016.4～
- 2) 研究科運営会議委員、2015.4～
- 3) 研究科入試委員会委員、2010.4～
- 4) 博士課程検討委員会委員、2015.4～

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて参加者に栄養学科および授業について説明を行った。
- 2) 鈴木志保子、神奈川県立弥栄高等学校 スポーツ科学講座での「スポーツ科学」の授業
- 3) 鈴木志保子、神奈川県 知事と語ろう！地域の明日での「元気に暮らせる「食と運動」とは」の講演 2016.9.27

9 講演、放送(抜粋)

- 1) 鈴木志保子、横須賀市教育委員会 学校保健夏季研修講座での「給食時間マニュアルの意義と実践」の講演.2016.7.29
- 2) 鈴木志保子、実践教育センター 平成 28 年度実践教育センター教育・研修 栄養ケアマネジメント課程での「栄養教育と地域活動（栄養教育）（基本）」の授業 2016.8.13
- 3) 鈴木志保子、神奈川県教育委員会 平成 28 年度学校における食育推進講座「学校における食育の必要性」の講演.2017.1.23

10 科学研究費補助金、その他の補助金

- 1) 鈴木志保子、市立横須賀総合高等学校 運動部活動栄養サポート、研究 D(受託研究)、654.88 千円、2016.5.27.～2017.3.31

11 学内研究助成金の受託

- 1) 鈴木志保子、小学校の体育の授業における身体活動に関する研究、研究助成 B(奨励研究) 400.376 千円、2016.6.1.～2017.3.31

外山 健二（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 外山健二（2017）. I. 総論, 第 3 章③栄養診断 P96-97, II. 各論, 第 2 章③栄養代謝疾患における栄養教育. P239-249, 辻とみ子, 堀田千律子編, 新版ヘルス 21, 栄養教育・栄養指導論, 東京, 医歯薬出版.

3 その他の著書

- 1) 外山健二, 向井友花, 杉山みち子, 五味郁子, 駿藤晶子, 高田健人, 古谷野伸, 中村丁次: ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメント及び給食管理の実態. 神奈川県立保健福祉大学誌. 14.35-42.2017年3月
- 2) 外山健二, 杉山みち子, 五味郁子, 藤谷朝実, 向井友花: 平成 27 年度公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金普及啓蒙活動助成部門「海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践」実施報告書. 2017年3月

4 学会等での活動

シンポジスト

1) 食事時刻の変化・摂食速度と食事誘発性熱産生

第 63 回日本栄養改善学会学術総会シンポジウム①「体内時計からこれからの栄養学を深める～時間栄養学の基礎研究と実践をつなぐ～」

外山健二

第 63 回日本栄養改善学会学術総会。青森市。リンクステーション青森。平成 28 年 9 月 7 日

一般口演

ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学・栄養教育関連分野の教育支援の方法と課題

外山健二, 五味郁子, 向井友花, 駿藤晶子, 杉山みち子, 中原慎二, 山本 茂, 中村丁次。第 5 回日本栄養学教育学会学術総会。青森市。リンクステーション青森（青森文化会館）、平成 28 年 9 月 10 日。

座長

第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術総会ポスター栄養評価 2

第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術総会栄養士・管理栄養士部会パネルディスカッション。栄養ケアプロセスの意義と活用

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本静脈経腸栄養学会評議員 1998.4.～2015.3.
日本静脈経腸栄養学会代議員 2015.4.～（現在に至る）
- 2) 日本栄養改善学会評議員. 2002.4.～

日本栄養改善学会雑誌の栄養学雑誌の編集委員会委員。2015.11.～(現在に至る)
日本栄養改善学会の雑誌の編集委員として定期的に、編集委員会に出席し、当該雑誌の編集方針等の協議に加わっている。

- 3) 日本臨床栄養学会評議員。2002.4.～
- 4) 日本食育学会 日本食育学会誌編集委員。2012.4.～ (現在に至る)
日本食育学会の雑誌の編集委員として年2回、編集委員会に出席し、当該雑誌の編集方針等の協議に加わっている。
- 5) 公益社団法人日本栄養士会。TNT-D 委員会委員。2008.4. ～ (現在に至る)

6 学内教育活動

- 1) 外山健二，藤谷朝実、徳永美希。臨床栄養学実習Ⅰ。
- 2) 外山健二，中島 啓，藤谷朝実，長瀬香織、樋口良子。臨床栄養学実習Ⅱ。
- 3) 外山健二，五味郁子。臨床栄養学総論
- 4) 外山健二。臨床栄養学各論Ⅱ。
- 5) 杉山みち子，鈴木志保子，外山健二，佐野喜子，五味郁子，藤谷朝実
栄養管理学概論。
- 6) 外山健二，中島 啓，五味郁子，藤谷朝実，徳永美希，長瀬香織。臨床栄養学臨地実習Ⅰ。
- 7) 外山健二，杉山みち子，中島 啓，藤谷 朝実，五味郁子，徳永美希，長瀬香織。
臨床栄養学臨地実習Ⅱ。
- 8) 卒業研究にて4年生8名を指導した。2016.4.～2017.3.
- 9) 大学院専門科目 中村丁次，中島 啓，外山健二。人間栄養学。
- 10) 大学院専門科目 中村丁次，中島 啓，外山健二。臨床栄養学特論。
- 11) 大学院研究科において指導教員として修士論文作成1名指導した。
- 12) 実践教育センター。栄養ケア・マネジメント課程必修科目。臨床栄養実践活動論
において、経腸栄養法について講義を行った(8時間)。2016.5.28.
- 13) 実践教育センター。栄養ケア・マネジメント課程必修科目。「臨床栄養活動論に
おいて、事例検討演習を行った(4時間)。2016.9.3.
- 14) 実践教育センター。栄養ケア・マネジメント課程選択科目。栄養ケア・マネジメ
ントの展開2において実践病態栄養学について講義を行った(8時間)。2016.10.29.
- 15) 実践教育センター。栄養ケア・マネジメント課程。栄養ケア・マネジメント課程
栄養ケア・マネジメントの展開1(品質改善活動)最終発表(8時間)。2016.12.10.

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会委員 2013.4.～現在に至る
- 2) 入試委員会委員 2015.4.～現在に至る

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立サイエンスフロンティア高等学校 高齢連携授業 「これからの栄養学」 2016.4.21

- 2) ハノイ医科大学栄養士養成課程において臨床栄養学関連科目を 12 コマ実施。
2016.9.28-30.

9 講演, 放送

- 1) 平成 28 年度 日本栄養士会 TNT-D 研修会フォローアップ研修会東京会場 講師
大妻女子大学. 2016.12.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 外山健二, 倉貫早智, 中村丁次: 神奈川県内在住高齢者を対象とした MSG 摂取と健康・食生活調査及びその評価研究. 味の素イノベーション研究所. 2,000,000 円
- 2) 外山健二, 杉山みち子, 向井友花, 五味郁子, 牛込恵子. 海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践. 940,000 円

中島 啓 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 中島 啓「研修医・医学生のための症例で学ぶ栄養学」建帛社 6章 低栄養・消耗性疾患と栄養療法 タンパク質・エネルギー栄養障害、やせ、サルコペニア P 98, 119-122, 2016
- 2) 岩根 泰三、中島 啓「人工甘味料をうまく使う」アンチ・エイジング医学 メディカルレビュー社 12: 657-662, 2016.
- 3) 中島 啓「人工甘味料・天然甘味料の糖代謝への影響と摂取上の注意点」医歯薬出版プラクティス 33:732-734, 2016
- 4) 中島 啓「スタンダード人間栄養学 臨床栄養学」朝倉書店 第7章 薬と栄養・食事の相互作用 P 51-56, 2016
- 5) 岩根 泰三、杉山 みち子、中島 啓「食物繊維を摂るために現代の日本食が過去から学べること」糖尿病診療マスター 医学書院 P210-215, 2016
- 6) 中島 啓「新スタンダード栄養・食物シリーズ」東京化学同人 第5章 肝炎、肝硬変、脂肪肝、胆石、膵炎

2 学術論文

- 1) Nakajima K, Suwa K, Toyama K. Age-dependent changes in the association between sleep duration and impaired glucose metabolism. World J Diabetes 2017 in press
- 2) Nakajima K, Suwa K. Association between positive fecal occult blood test and diabetes in a population undergoing health screening. Clinical Biochemistry 2017;50:97-100
- 3) Nakajima K, Kanda E, Suwa K. Prevalent hyperglycemia in older obese population and age-dependent convergence of obese indices: Results of a cross-sectional study of Japanese generations over the adult life span. Endocr Res. 2016;41:236-47

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会（認定医・総合内科専門医）
- 2) 日本肥満学会（肥満症専門医）
- 3) 日本動脈硬化学会（評議員）
- 4) 日本臨床栄養学会（評議員、臨床栄養指導医）、学会誌編集委員
- 5) 日本病態栄養学会
- 6) 日本臨床栄養協会（評議員）
- 7) 日本栄養食糧学会 用語策定委員
- 8) 日本糖質制限医療推進協会
- 9) 日本糖尿病学会
- 10) 日本糖尿病協会（療養指導医）

- 11) 日本循環器学会
- 12) 日本未病システム学会
- 13) 日本疫学会（社会医学系専門医・指導医）

6 学内教育活動

- 1) 臨床医学概論
- 2) 臨床検査学概論
- 3) 臨床栄養学各論 1
- 4) 臨床栄養学実習Ⅱ
- 5) 救急・救命学
- 6) 人間栄養学特論
- 7) 臨床栄養学特論
- 8) 実践教育センター、栄養ケア・マネジメント課程症例検討

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) 博士課程設置検討委員会委員
- 3) 図書・情報委員会（委員長 9月～）
- 4) 選挙管理委員会委員

8 社会貢献

- 1) 埼玉医科大学総合医療センターにおける糖尿病・脂質異常症・肥満症等の外来診療
- 2) *Medicine (Wolters Kluwer)*, Editorial board member
- 3) *World Journal of Diabetes*, Editorial board member
- 4) *Open Journal of Endocrine and Metabolic Diseases*, Editorial board member
- 5) 難病指定医（埼玉県）

14 その他

- 1) 中島 啓「より健康に機能性甘味料」健康産業流通新聞 928号 2016

山西 倫太郎 (大学院研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2017, MEDIC MEDIA 刊 (執筆協力)

4 学会等での活動

- 1) 発表:「 β -カロテンによる RAW264 細胞のグルタチオン量亢進にレチノイドシグナル伝達経路は関与しない」山西倫太郎、向井友花、第 70 回日本栄養・食糧学会大会 (兵庫). 2016 年 5 月 15 日
- 2) 座長: 第 70 回日本栄養・食糧学会大会 (兵庫) 一般講演. 2016 年 5 月 15 日

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本栄養・食糧学会 参与

6 学内教育活動

- 1) 食品学総論 (必修科目) 1 年生. 2016.4～2016.9
- 2) 食品学各論 (必修科目) 1 年生. 2016.10～2017.3
- 3) 食品機能学 (選択科目) 2 年生. 2016.4～2016.9
- 4) 食品学実験 I (必修科目) 1 年生. 2016.10～2017.3
- 5) 外書講読 (選択科目) 3 年生. 2016.4～2017.3
- 6) ゼミにおける教育活動 3 年生. 2016.4～2017.3
- 7) 総合演習 (必修科目) 4 年生. 2016.4～2016.9
- 8) 特別講義 (国試対策) 4 年生・オムニバス. 2017.1.31、2017.2.1
- 9) 卒業研究 (必修科目) 4 年生. 2016.4～2017.3
- 10) 栄養学科 2 年生 (13 期生) 担任. 2016.4～2017.3
- 11) 大学入試当日業務. 2016.9.17、2016.11.23、2017.1.15、2017.2.25
- 12) 食品機能学特論 (選択科目) 大学院生・オムニバス. 2016.4～2016.9
- 13) ヒューマンサービス特論 (必修科目) 大学院生・オムニバス. 2016.6.18
- 14) 大学院 1 年生 ランチョンミーティング. 2016.4.16
- 15) 大学院最終学年生 イブニングミーティング. 2016.12.1
- 16) 大学院入試説明. 2016.6.11、2016.12.17
- 17) 大学院入試当日業務. 2016.9.18、2017.2.18
- 18) 天秤室精密天秤管理. 2016.4～2017.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会委員. 2014.4～2017.3 (継続)
- 2) 博士課程設置検討委員会委員. 2014.7～2017.3
- 3) 研究科運営会議委員. 2015.4～2017.3 (継続)
- 4) 研究科入試委員. 2016.4～2017.3 (継続)

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける栄養学科学生相談室の統轄. 2016.8.6
- 2) ヒューマンサービス公開講座の実行委員. 2016.6.12、2016.9.24

9 講演, 放送

- 1) 日本国際薬膳師会 講習会「機能性表示食品について」講師. 2016.9.10

11 学内研究助成金の受託

- 1) 山西倫太郎 (研究代表者). ビタミンA (レチノール) によるマクロファージ培養細胞の抗酸化誘導. 神奈川県立保健福祉大学 助成研究 B (奨励研究), 総額 318,321 円, 2016.6～2017.3

14 その他

- 1) 大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻 専攻長 2015.4～2017.3 (継続)
研究科運営会議の事前打ち合わせ会議、研究科委員会の事前打ち合わせ会議、入学式・入学時オリエンテーション・各領域の中間報告会・大学院入試合否判定会議等への出席、修士論文発表会の進行役、さらに大学院博士後期課程設置申請に関する書類の作成及び文部科学省との折衝等に関する業務を担当した。

山本 妙子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 碓野佐也香，中西明美，野末みほ，石田裕美，山本妙子，阿部彩，村山伸子．世帯の経済状態と子どもの食生活との関連に関する研究．(2017)．栄養学雑誌，75(1)，19 - 28.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 山本妙子．日本栄養改善学会，評議員，2016.4.～2017.3.
- 2) 山本妙子．日本給食経営管理学会，評議員，2016.4.～2017.3.
- 3) 山本妙子．横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会，部会員．横須賀市民の健康増進に寄与する計画の進行管理を務めた．2016.4.～2017.3.
- 4) 山本妙子．(公社)神奈川県栄養士会，常任理事．教育研究栄養士事業部会，幹事．神奈川県内栄養士・管理栄養士養成施設の会員の資質向上に寄与すべく努めた．2016.5.～2017.3.
- 5) 山本妙子．川崎市学校給食会，顧問，学校給食が児童生徒にとって有益であるために、物資並びに経費が適正に運用されるよう検討した．2016.4.～2017.3.

6 学内教育活動

- 1) 山本妙子．給食経営管理論Ⅱ，給食経営管理論実習，給食経営管理論臨地実習Ⅰ，同Ⅱ，学校栄養教諭論，食教育実践論，教職実践演習（栄養教諭）、栄養教育実習，保健医療福祉論Ⅰ(栄養担当回)，卒業研究．2016.4.～2017.3.
- 2) 山本妙子．大学院研究科 栄養実践活動概論，栄養ケア・マネジメント特論，栄養ケア・マネジメント特論演習．2016.4.～2017.3.
- 3) 山本妙子．実践教育センターにおける「子どもの食育支援研修」を企画運営，講師を務め，食育支援実践者のスキルアップを支援した．2016.4.～2017.3.
- 4) 山本妙子．学生団体シーラボ☆の顧問として本学並びに学外における学生の食育活動を支援した．2016.4.～2017.3
- 5) 山本妙子．学生団体「食堂改革プロジェクト・リコリア」の顧問として学生の食育活動と共に食堂利用活性化を支援した．2016.4.～2017.3
- 6) 山本妙子．栄養学科 11 期生の担任を務めた．

7 学内各種委員会活動

- 1) 山本妙子．人権倫理委員会 委員，2016.4.～2017.3.
- 2) 山本妙子．地域貢献研究センター運営委員会 委員，2016.4.～2017.3

8 社会貢献

- 1) 山本妙子．食育サークル・シーラボ☆の顧問として、「かながわ・食育をすすめる会」との協働でバランスアップメニューの季刊リーフレットを作成．神奈川県下大手スー

パー等 209 店舗で無料配布し県民の食生活改善をサポートした。学生食堂並びに横須賀市役所食堂にシーラボ☆メニューを提供し、また(株)富士シティオ、ユーコープ神奈川、京急ストア等との協働による弁当・惣菜の開発を行い、県民の健康的な食事提供を支援した。2016.4.～2017.3.

9 講演, 放送

- 1) 山本妙子. 神奈川県立瀬谷西高等学校において、第1学年生徒を対象に「キャリア講座」の講師。2016.5.10
- 2) 山本妙子. 給食施設栄養管理研修会において、管内給食施設に従事する管理栄養士、栄養士、管理者を対象に「給食施設における健康管理について」の講演。2016.6.21
- 3) 山本妙子. 児童福祉施設協議会栄養士研修会において、神奈川県内の児童福祉施設の栄養士を対象に「さかな丸ごと食育養成講師研修」の講師。2016.9.28
- 4) 山本妙子. 厚木愛甲地区学校保健会において、学校保健担当者を対象に「子どもたちの生きる力を育む食生活について」の講師。2016.11.10
- 5) 山本妙子. 学校給食・食育研究協議会において、小・中学校食育担当教員、栄養教諭を対象に「学校で取り組む食育 その改善と可能性」の講演。2016.11.15

12 受賞

- 1) 山本妙子. 神奈川県. 保健衛生表彰。2016.11.22.

倉貫 早智 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 中村 丁次 , 倉貫 早智 「栄養ケアステーションでの機能性農産物認知活動について」 JATAF ジャーナル, 4(12), 35-40, 2016.12.
- 2) 山本 (前田) 万里 , 廣澤 孝保 , 三原 洋一 , 倉貫 早智 , 中村 丁次 , 川本 伸一 , 大谷 敏郎 , 田中 俊一 , 大橋 靖雄 「機能性農産物を使用した機能性弁当の内臓脂肪等メタボリックシンドロームへの影響の検証するヒト介入ランダム化プラセボ対照比較試験」 日本食品工業学会誌, 64(1), 23-33, 2017.1.

3 その他の著作

- 1) 倉貫早智 日本臨床栄養学会誌雑誌編集後記, 日本臨床栄養学会雑誌 Vol.38, No.4 (2016)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本臨床栄養協会 評議委員 2016.4～2017.3.
- 2) 日本臨床栄養学会 「日本臨床栄養学会雑誌」編集委員 2016.4～2017.3
- 3) 神奈川県医食農同源研究会メンバー 2016.4～2017.3

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科必修科目「基礎栄養学, 基礎栄養学実験, 生化学 I, 生化学 II, 生化学実験」の担当を行った. 2016.4～2017.3.
- 2) 栄養学科必修科目「健康科学概論」をオムニバスで担当した. 2016.10～2017.3.
- 3) 看護学科科目 (栄養学) をオムニバスで担当した. 2016.10～2017.3.
- 4) 実践教育センター「平成 25 年度教員免許状更新講習会」で「子どもの食育」を担当した. 2016.8.
- 5) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」の開講科目 (臨床栄養実践活動論) を一部担当した. 2016.9.
- 6) 卒論研究 (4 年次学生 5 名) の指導を行った。2016.4～2017.3.

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員 2016.4～2017.3
- 2) 研究助成専門部会委員 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) 平成 28 年度 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパスにて、質問コーナーを担当。2016.8.
- 2) 静岡県立島田高等学校「しまこう学問探究ナビ」にて出張講義を実施。2016.10.
- 3) 高大連携事業の一環として神奈川県立氷取沢高等学校にて大学出前講義を実施。

2017.2

- 4) 「未病を治す栄養サポート事業」の一環として栄養サポートセンター／ステーションの企画運営に参画. 2016.4～2017.3
- 5) 「未病女子対策プロジェクト」メニュー・レシピグループに参画. 2016.6～2017.3.
- 6) 平成 28 年度第 1 回神奈川県医食農同源研究会にて、県立保健福祉大学の取組について報告. 2017.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 外山健二, 倉貫早智, 中村丁次: 神奈川県内在住高齢者を対象とした MSG 摂取と健康食生活調査及びその評価研究. 味の素イノベーション研究所. 2,000,000 円
2015.3.～2017.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 学内研究助成; 研究代表者「高粘性オクラの成分の同定及び機能性に関する研究」研究助成 C (共同研究). タキイ種苗株式会社との共同研究. 270 千円

五味 郁子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 五味郁子：第2章5 栄養カウンセリング・コミュニケーション（4）認知行動療法、（5）コーチング、（6）コーディネーション、（7）栄養カウンセリングの実際、pp47-54. 第3章3 栄養診断、pp67-69. 第7章1 成人期の栄養教育の留意事項、3 生活習慣病の栄養教育、pp129-141. 第9章1 傷病者の栄養教育の留意事項、2 慢性腎不全患者の外来栄養食事指導、pp161-167、杉山みち子、赤松利恵、桑野稔子編著：カレント栄養教育論。建帛社、東京、2016年6月。

2 学術論文

- 1) Ikeda T, Aizawa J, Nagasawa H, Gomi I, Kugota H, et al.(2016). Effects and feasibility of exercise therapy combined with branched-chain amino acid supplementation on muscle strengthening in frail and pre-frail elderly people requiring long-term care: crossover trial. *Appl Physiol Nutr Metab*, 41(4), 438-45.
- 2) 外山健二, 向井友花, 杉山みち子, 五味郁子, 駿藤晶子, 高田健人, 古谷野伸, 中村丁次(2017). ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメント及び給食管理の実態. *神奈川県立保健福祉大学誌*, 14, 35-42.
- 3) 五味郁子(2016). ICT を活用した食生活サポートシステムの構築に関する研究. *地域ケアリング*, 18 (6) , 92-95.
- 4) 五味郁子(2016). ICT を活用した地域住民と「食」の地域資源の連携ツール～食生活サポートシステムの構築に関する研究～. *地域ケアリング*, 18 (10) .
- 5) 五味郁子：健康運動教室参加高齢者の体重変化と身体組成、たんぱく質摂取状況－4年間の体重変化による比較－. 平成28年度高齢者における健康維持増進のための総合的 pursuit 研究報告書（研究代表者 岩佐敏）pp11-14. 2016年2月。

3 その他の著作

- 1) 五味郁子、2分でわかる地域包括ケアシステムまとめ. *日本栄養士会雑誌* 60(1) ; 12-13、2016.12.
- 2) 外山健二、杉山みち子、五味郁子、藤谷朝実、向井友花：平成27年度公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金普及啓蒙活動助成部門「海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践」実施報告書。2017年3月

4 学会等での活動

- 1) 谷口英喜、五味郁子、木村麻美子、牛込恵子：高齢者用かくれ脱水スクリーニングシートの開発－自立的在宅高齢者を対象とした検討. 日本老年医学会、ANAクラウンプラザホテル、2016.6.8.

- 2) 外山健二、五味郁子、向井友花、駿藤晶子、杉山みち子、中原慎二、山本 茂、中村丁次：ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学・栄養教育関連分野の教育支援の方法と課題．第 5 回日本栄養学教育学会学術総会、青森文化会館、2016. 9. 10.

6 学内教育活動

- 1) 栄養教育各論Ⅱ，栄養教育論実習，健康科学概論，エビデンス・ベースド・ヘルスケア，臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ，総合演習（栄養教諭課程）栄養学（看護学科）
- 2) 大学院研究科 栄養ケア・マネジメント特論演習，栄養実践活動調査研究特論演習，栄養実践活動概論を一部担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) 五味郁子．社会保険横浜看護専門学校 非常勤講師「代謝と栄養」2016.4～2017.3
- 2) 五味郁子．湘南医療大学 非常勤講師 リハビリテーション学科「栄養学」2016.4～2017.9
- 3) 五味郁子．神奈川県老人クラブ連合会横須賀・三浦ブロック連絡協議会主催ゆめクラブ大学の企画、調整、講師「あなたの暮らしと食生活」2016.10.13.
- 4) 五味郁子．JICA 青年研修中央アジア・ユーサカス母子保健実施管理コース講師「日本の母子保健と栄養」2017.1.23.
- 5) 五味郁子．ハノイ医科大学栄養士課程における講義・演習「Nutrition care and management」「Nutrition education/counselling」2016.9.26-28.
- 6) 川島由起子、向井友花、藤谷朝実、五味郁子、外山健二、他：ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメントシステム構築支援のための現地調査．2016.9.25-29.

9 講演

- 1) 外山健二、向井友花、谷口英喜、五味郁子、駿藤晶子、牛込恵子、高田健人、小谷野伸、杉山みち子、中村丁次：ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメントの実態．平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会．2016.7.6
- 2) 五味郁子．日本健康・栄養システム学会 臨床栄養士研修講師「栄養教育（保健指導）」2016.6.9
- 3) 五味郁子．神奈川県立保健福祉大学第 13 回ヒューマンサービス公開講座春期「暮らしの中の保健福祉」パネリスト「高齢者となりのミールプラン 食べる

楽しみいつまでも」2016.6.12.

- 4) 五味郁子. 神奈川県教育委員会主催 学校栄養職員経験者研修講座講師「栄養教育と行動科学」2016.7.25.
- 5) 五味郁子. 健康保険組合連合会主催 特定保健指導実践者育成研修会講師「特定保健指導の効果的な実践～食生活に関する保健指導」2016.8.24.
- 6) 五味郁子. 磯子区介護予防普及啓発講演会講師 2016.8.30.
- 7) 五味郁子. 横須賀市・ひくてあまたプロジェクト実行委員会主催 生涯現役フォーラム特別講演会講師「アクティブシニアの栄養管理」2016.11.19
- 8) 五味郁子. 秋田県保険者協議会主催 特定保健指導実践者育成研修会講師 2016.11.28.
- 9) 五味郁子. 小田原保健福祉事務所主催 特定給食施設等栄養管理講習会講師 2017.2.2.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 五味郁子 (研究代表者). 地域高齢者のための食生活サポートネットワークの構築に関する研究. 平成 26 年度科学研究費助成事業 (若手研究 (B)) 2,700 千円. 2014.4～2018.3
- 2) 中村丁次、五味郁子. クロレラ食品の栄養状態改善の有効性に関する研究. 株式会社サン・クロレラ受託研究 10,128 千円. 2011～2017.3
- 3) 外山健二、杉山みち子、五味郁子他: 海外における栄養改善活動支援可能な管理栄養士養成プログラムの実践. 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金. 栄養改善に関する普及啓蒙活動助成部門. 940 千円, 2015.4～2017.3.
- 4) 石井慎一郎、五味郁子. 三浦市在住高齢者を対象とする食品アクセスの実態調査. 神奈川県立保健福祉大学長推薦研究. 500 千円、2016.7～2017.3.

佐野 喜子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 日本糖尿病学会編著(食品交換表編集委員会・腎症食品交換表改訂小委員佐野喜子) 糖尿病腎症食品交換表第3版.文光堂, 2016, 132p.
- 2) 佐野喜子. “未来のためにできること-食事療法編”.糖尿病発症・重症化予防のさくさくポイントノート.糖尿病ケア 11月号.2016.Vol.13 (11) p.23-26.メディカ出版
- 3) 佐野喜子. “糖尿病の療養指導 Q&A:糖尿病腎症の食品交換表第3版のポイント” プラクティス Vol.34(2). 2017. 3-4 医歯薬出版株式会社.

2 学術論文

- 1) 佐野喜子(分担). “糖尿病重症化予防事業に参加した2型糖尿病患者の罹病期間の違いによる介入効果の検討”.厚生労働科学研究(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラム開発のための研究」平成28年度総括・分担研究報告書. 津下一代(代表研究者). 2017. p.114-119、p.160-168.
- 2) 佐野喜子(分担). 「宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)スタートアップマニュアル」国立研究開発法人日本医療研究開発機構(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)「生活習慣病予防のための宿泊を伴う効果的な保健指導プログラムの開発に関する研究」平成28年度分担研究報告書. 津下一代(代表研究者). 2017. 146p.

3 その他の著作

該当なし

4 学会等での活動

- 1) 佐野喜子(口演)、志村真紀子.「重症化予防事業に参加した2型糖尿病患者の罹病期間の違いによる傾向と効果」.第59回日本糖尿病学会年次学術集会(京都,2016.5)
- 2) 佐野喜子(シンポジスト).「地域の社会資源を活用した保健指導」.シンポジウム 33 進化していく保健指導～その実際と評価. 第75回日本公衆衛生学会.(大阪,2016.10)
- 3) 佐野喜子(示説)、劉大漫、中村誉、栄口由香里、松下まどか、村本あき子、矢部大介、小熊祐子、八谷寛、荒川雅志、樺山舞、津下一代「宿泊型新保健指導(Smart Life Stay)における食プログラムが生活習慣の変容に及ぼす効果」. 第23回日本未病システム学会(福岡,2016.11)
- 4) 佐野喜子(口演)、中村誉、安田実加、野村恵里、栄口由香里、松下まどか、村本あき子、矢部大介、小熊祐子、八谷寛、荒川雅志、樺山舞、津下一代.宿泊型新保健指導(Smart Life Stay)における体験型プログラムが食習慣に与える効果 について.第20回日本病態栄養学会(京都,2017.1)
- 5) 日本肥満学会スキルアップ講座(企画・運営・コーディネーター)日本肥満学会(2016.5)

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病学会 食品交換表編集委員会、腎症食品交換表・改訂委員会.委員(～2017.5)
- 2) 日本糖尿病学会 食品交換表編集委員会、カーボカウント小委員会.副委員長(2011～).
- 3) 日本肥満学会 評議員 (2013～)
- 4) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士カリキュラム委員会.委員 (2013～)
- 5) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士受験資格評価委員会.委員長 (2016～)
- 6) 日本未病システム学会.学術評議員 (2008～)

6 学内教育活動

- 1) 公衆栄養学Ⅰ、公衆栄養学Ⅱ、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習Ⅰ、公衆栄養学臨地実習Ⅱ、エビデンスベースドヘルスケア、外書購読、総合演習
公衆衛生学Ⅰ(分担),健康科学管理論(分担),栄養管理学概論(分担),健康教育各論(分担)
- 2) 大学院研究科 栄養実践活動調査研究特論、栄養実践活動調査研究特論演習
- 3) 大学院修士論文指導(1名)、学部卒業論文指導(5名)
- 4) 栄養学科3年(12期生)担任として、進路面談などの実施(1～4)は2016.4～2017.3)
- 5) 栄養教育と地域活動。(栄養教育・集団の栄養評価と計画)、実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程(2016.6.18&12.10)
- 6) 保健医療福祉論Ⅰ 現場訪問事前・事後指導(2016.8.2,10)
- 7) ゼミ活動の一環として、特定保健指導、糖尿病重症化予防事業のスタッフ補助として、指導の実際を学習するゼミ学外演習の実施(2016.8～9)
- 8) グループ面接対応講座・面接模擬指導(2016.6～2016.12)
- 9) エントリーシート添削指導(2016.6～2017.3)
- 10) 留学生を通じた公益財団法人ロータリー米山記念奨学事業への協力(2017.3)

7 学内各種委員会活動

- 1) FD委員会. 大学教職員の教育力向上を目的としたセミナー(年4～5回)の企画・運営
ニュースレターの発行
- 2) 時間割ワーキング. 学生が無理なく時間割編成が組めることを目的に、随時調整を図っている。
- 3) 栄養学科FD. 学科内FDの運営. 課題検討(科目担当の調整確認)や外部講師による研鑽研修会(「生涯活躍のまち構想:健康寿命の延伸のために」.東北大学大学院 辻一郎教授)の運営.
(1)～(3)は2016.4～2017.3)

8 社会貢献

- 1) 神奈川県生活習慣病対策委員会:かながわ健康プラン21(第2次)目標評価部会委員
- 2) 神奈川県生活習慣病対策委員会:かながわ健康プラン21(第2次)ワーキング
- 3) 逗子市食育推進懇話会アドバイザー:逗子市福祉部国保健康課健康係

- 4) 神奈川県栄養士養成施設協会理事: “第 44 回これから栄養士になる人のための集い”の企画運営、神奈川県保健衛生表彰(知事表彰)に関する事務
- 5) 管理栄養士養成施設保健所実習連絡部会委員:臨地実習「公衆栄養」神奈川県実習要綱の検討など
(1)~5)は 2016.4~2017.3)
- 6) 高大連携出張講座: 神奈川県立 瀬谷高等学校(2016.6)
- 7) 相模女子大学栄養科学部管理栄養学科との授業(臨地実習報告会)交流 (2016.7.2)
- 8) 厚木市専門職・推進員研修会:厚木市市民健康部健康づくり課 (2016.7.9&15)
- 9) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス: 栄養学科 (2016.8.7)
- 10) 歯科医科連携センターにおける健康長寿推進のための活動:「神奈川県立歯科大学病診連携推進広報委員会」(2016.8~2017.3)
- 11) 平成 28 年度特定保健指導スキルアップ研修会「リピーター対策・事例から学ぶ保健指導の実践力」神奈川県保険者協議会・神奈川県 (2016.8.19)
- 12) 足柄上内科医学学術講演会: 足柄上地区糖尿病治療勉強会 (2016.12.20.)
- 13) 横須賀地区栄養士研究発表会(講評) 横須賀地区栄養士連絡協議会 (2017.3.3)
- 14) 市民講座コーディネーター「食習慣からみた生活習慣病予防」: 神奈川県 (2017.3.24)

9 講演, 放送

- 1) 第 43 回葛飾糖尿病医会「行動変容につながる療養指導」:葛飾糖尿病医会(2016.4.15)
- 2) 平成 28 年度特定健診・特定保健指導従事者研修会「食生活に関する保健指導のポイント」.石川県・石川県保険者協議会・石川県医師会 (2016.8.21)
- 3) 平成 28 年度新潟県栄養士会生涯教育研修会「成果につなげる栄養指導」.公益社団法人新潟県栄養士会 (2016.9.3)
- 4) 平成 28 年度国保連合会保健師研修会「糖尿病性腎症重症化予防における食事指導のポイント」.国民健康保険中央会(2016.9.27)
- 5) 平成 28 年度 JR グループ保健師会議「成果につなげる保健指導」 JR グループ健保 (2016.9.30)
- 6) 平成 28 年度保健指導担当者研修会「行動変容に関する理論」公益社団法人日本栄養士会 (2016.10.1)
- 7) 第 36 回荒川糖尿病フォーラム「行動変容につながる療養指導」 (2016.11.17)
- 8) 第 41 回ヘルスツーリズムセミナー「身近な健康づくりとヘルスツーリズム」日本ヘルスツーリズム振興機構・経産省(2016.11.28)
- 9) 平成 28 年度公益社団法人茨城県栄養士会研究教育・公衆衛生専門研究会 研修会「行動変容につながる療養指導」.公益社団法人茨城県栄養士会 (2016.12.12)
- 10) 平成 28 年度「20,30 代職員対象肥満改善教室」.大分県共済組合 (2017.1.12)
- 11) 平成 28 年度特定保健指導スキルアップ研修会「食生活改善を促す情報提供のコツ」大分県保険者協議会・大分県国保連合会 (2017.2.21)
- 12) 第 3 回岐阜糖尿病看護スタッフセミナー「特別講演・糖尿病患者さんの食事支援の落とし穴とその対策」 岐阜市民病院 (2017.2.27)

- 13)日本肥満学会・星薬科大学連携講座「認定薬剤師研修:ニーズを引き出し、やる気を促す保健指導の実際」星薬科大学(2017.3.5)
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 平成 28 年度 科学研究補助金基盤研究(主任研究者)「カーボカウントのアドヒアランスを高める食事指導プログラムの開発と効果検証に関する研究」日本学術振興会(2013.4.1.～2017.03.31)
 - 2) 平成 28 年度 厚生労働科学研究委託(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究・分担研究者)「生活習慣病予防のための宿泊を伴う効果的な保健指導プログラムの開発に関する研究」(2015.4.1～2017.3.31)
 - 3) 平成 28 年度 厚生労働科学研究委託費(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業・分担研究者)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラム開発のための研究」(2015.12.1～2018.3.31)
 - 4) 平成 28 年度 科学研究補助金 基盤研究(分担研究者)「在宅高齢者と介護者の食生活と栄養を支援するプログラム開発」(2014.5～2018.3.31)
 - 5) 平成 27-28 年度受託研究(株)エアールティ(主任研究者)「糖尿病患者及び予備軍を対象とした食事診断システムの妥当性の検討」.(2015.8～2016.6.30)
 - 6) 平成 28-29 年度受託研究(株)ベネフィットワン・ヘルスケア(主任研究者)「糖尿病の重症化予防事業における生活習慣病対策の効果検証」.(2017.1～2018.3.31)
- 11 学内研究助成金の受託
該当なし
- 12 受賞
該当なし.
- 13 特許など
該当なし
- 14 その他
該当なし

藤谷 朝実 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 藤谷朝実.(2016). 食べる機能を考える 2.成長に必要な栄養とは、3.乳児期、離乳期、幼児期での栄養補給. 田村文誉、水上美樹編. 上手に食べるために 3 摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント (pp.10-21) .東京：医歯薬出版株式会社

2 学術論文

- 1) 藤谷朝実、奥田真珠美、十河剛、位田忍、西本祐紀子、友政 剛、川久保清.(2016) 3～9 歳児における機能性便秘の頻度と生活時間・食習慣との関連 日本小児科学会雑誌、120 (5)、860-868

3 その他の著作

- 1) 藤谷朝実.(2016) 妊娠・出産を迎える女性の特性を意識した健康と食. 日本栄養士会雑誌.Vol.60 (2)、10-11

4 学会等での活動

- 1) 藤谷朝実、上田まなみ、星野依子、土屋文美、柳澤貴司、吉岡藤治、青江誠一郎、比嘉真理子.(2016) 糖尿病患者に対する高β-グルカン含有大麦キラリモチ混合飯摂取の食後血糖上昇抑制効果. 第 59 回日本糖尿病学会口演発表
- 2) 藤谷朝実.(2016) 日本臨床栄養学会・日本臨床協会第 14 回合同学会 一般演題 9 妊産婦・幼児座長

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本健康栄養システム学会 理事 (2016 年 4 月～現在)
- 2) 日本臨床栄養協会・日本臨床栄養学会中心となった委員会 (他 7 学会が共同参加) 小児専門栄養士設立委員：病院・施設で、疾患や障害をもつ子供たちの栄養管理を行っている管理栄養士の能力の向上並びに地位確立を目的として、小児専門栄養士制度の確立を目指す、栄養関連学会合同の委員会 (2016 年 12 月～現在)
- 3) ウィルソン病患者会 子ども会 WILDREN 運営委員：ウィルソン病患者会の一つとして 2009 年に東部病院の医師・看護師・CLS が中心となって設立した会であり、その中で管理栄養士として助言並びに会の運営のサポートを行っている。(2009 年 6 月～現在)

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科 2 年生に対し、調理学実習の授業並びに教材作成を行った。毎回提出されるレポートの確認を行い、実習の習得度や理解について評価並びに不足についてはコメント等で補完した。(2016 年 4 月～7 月)
- 2) 栄養学科 1 年生に対し、調理学の授業を行い授業に必要な教材作成を行った。(2016

年 10 月～2017 年 1 月)

- 3) 栄養学科学生に対し、比較食文化論の授業・並びに教材作成を行った。(2016 年 4 月～5 月)
- 4) 臨床栄養実践調理学研究室に所属する 3 年生のゼミ生 2 名に対して、原則として毎週木曜日に文献抄読を中心とした学習を行った (2016 年 6 月～2017 年 3 月)
- 5) 大学院修士課程の学生 (土屋文美) に対し、外山健二指導教授の副指導員として研究指導並びに論文指導を行った (2016 年 4 月～2017 年 3 月)
- 6) 大学院修士課程 1 年生に対し、「病院における NCM について」講義・教材作成を行った (2016 年 6 月 28 日)
- 7) 栄養学科 3、4 年生の臨床栄養臨地実習に際し、実習施設を訪問し巡回指導を行った (2016 年 6 月 30 日湘南ホスピタル、7 月 1 日横浜市東部病院、2017 年 2 日曾我病院、川崎市立病院、3 月 7 日福井記念病院、9 日こども医療センター、3 月 15 日横浜市東部病院)
- 8) 栄養学科一年生に対し、栄養管理概論として「病院における管理栄養士の役割」について講義を行った。(2016 年 7 月 4 日)
- 9) 保健医療福祉概論の授業の一環として指定された病院(福井記念病院)に学生を引率した (2016 年 8 月 9 日)
- 10) 保健福祉概論の授業の一環として事前・事後指導を行った (2016 年 8 月 2 日、10 日)
- 11) 栄養学科 3 年生の臨床栄養学実習Ⅱの授業において、外山教授の補助として学生指導を行った。(2016 年 10 月～2017 年 1 月)
- 12) 栄養学科一年生の担任として個別面接を外山先生と共に実施した (2016 年 10 月 4 日、11 日、18 日)
- 13) 栄養学科 3 年生に対し、応用栄養学実習として、調乳・離乳食の実際について授業・教材作成を行った (2016 年 11 月 11 日)
- 14) 栄養学科 3 年生に対し、栄養教育論各論として妊娠・出産・乳児期の栄養教育について講義並びに教材を作成した (2017 年 1 月 10 日、17 日、24 日、31 日)
- 15) 大学入学試験において前期・後期入試ともに面接官として入学志願者の面接試験を行った (2017 年 2 月 25 日、3 月 12 日)

7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働委員会 (2016 年 5 月～2017 年 3 月)
- 2) 医療保健福祉論タスクフォース委員 (2016 年 5 月～2017 年 3 月)
- 3) 臨地実習ワーキンググループ委員 (2016 年 5 月～2017 年 3 月)

8 社会貢献

- 1) 平成 28 年度入職看護師に対して、栄養管理の必要性並びに方法について症例を通して講義・教材の作成 済生会横浜市東部病院看護部より依頼 (6 月 10 日)
- 2) 日本健康栄養システム学会主催の臨床栄養師資格取得に向けての勉強会で低栄養の機序並びに栄養管理の方法等症例を通して講義・教材 (6 月 11 日)
- 3) 神奈川県立実践教育センターにおいて、NCM 論を主教官である杉山教授の副教員と

- して受講生の指導を行った。(2016年4月30日、5月14日、10月22日、12月10日)
- 4) Hanoi 医科大学医学部の教員・学生の訪日に際し、横浜市東部病院の施設見学に同行し、病院での栄養管理並びに患者給食について説明を行う共に、訪日最終日に行われた日本栄養士会での最終報告会に参加した。(10月24日、26日)
 - 5) 東邦大学医学部大森病院において、小児がんの子供たちの会が主催するハロウィンパーティーの開催に当たって、パーティーで使用するマフィン进行调整するとともに、パーティーの開催の準備運営にゼミ生本脇奈里子、浅見桃子とともに参加した(10月30日)
 - 6) 神奈川県立有馬高校2年生に対し、栄養学の必要・重要性について理解を促すために「It's a Dietician now!今、医療・保健の分野で求められる管理栄養士像」という授業・教材作成を行った(11月10日)
 - 7) 済生会横浜市東部病院において毎週水曜日のPNST(小児科NST)に参加し、小児期の栄養管理に関する助言サポートを行った(2016年4月~2016年3月)
 - 8) 済生会横浜市東部病院において金曜日の午後、小児消化器専門外来の一環として小児代謝障害、肝疾患を中心とした栄養相談を行った(2016年4月~2016年3月)
 - 9) たくこどもクリニック(神奈川県川崎市柿生)において月一回土曜日に成長障害や食事摂取に問題がある子ども・ご家族の栄養相談を行った(2016年4月~2017年3月)
 - 10) 千葉県立医療保健大学において、障害児・者の栄養管理について講義・教材作成を行った(2016年12月~2017年2月)

9 講演、放送

- 1) 「お野菜食べない子どもは便秘になっちゃう?・鶴見区の排便調査から見てきたこと-」、横浜市学校保健会鶴見支部 平成28年度総会記念講演:鶴見大学において学校保健会の依頼を受けて実施。対象は学校職員と父兄。2013年に調査した鶴見区の3-11歳の機能性便秘と食事・栄養の関連についての講演(2016年6月23日)
- 2) 「思春期こそ気にしてほしい・思春期のDBM-」藤沢保健所主催講演会:藤沢保健所より、思春期の栄養についての講演依頼により実施。対象は学校職員と保護者で、思春期のやせと肥満が混在する問題と食事の関連について提言(2016年8月22日)
- 3) 「個人を対象とした栄養指導、集団を対象とした栄養指導-糖尿病管理を中心に-」「栄養指導時に必要な献立と調理について」、日本栄養士会:管理栄養士の障害教育研修会として栄養指導時に必要なアセスメントや具体的な指導法についての講演(9月1日)
- 4) 「支援が必要な子供のためのミールラウンドと栄養ケア・マネジメント-課題と対応-」、子育て支援の栄養ケア・マネジメント講演会(後援 日本健康栄養システム学会):障害児を中心とした疾患を持つ子供たちの栄養状態維持に向けての栄養管理について講演 対象は保育園や幼稚園の職員並びに臨床栄養師を中心とした小児の栄養にかかわる管理栄養士(2016年9月9日)
- 5) 「The meaning to provide the meal at hospital」Hanoi 医科大学病院のスタッフに病院給食の目的と管理について講演の実施(2016年9月28日)

- 6) 「生活習慣病に対する食事の新しい考え方-腸内細菌から考える肥満改善-」、横須賀栄養管理研究会：横須賀の管理栄養士、医師を中心とした研究会において腸内細菌と整えることが肥満の改善に関与する根拠について示し、制限中心の食事から食事の内容調整による食事療法の提言を行った（2016年11月16日）
 - 7) 「管理栄養士の教育-臨地実習を受け入れる立場と送り出す立場から」、臨地実習プリセプター懇談会：臨地実習を受け入れる立場と送り出す立場の両視点から管理栄養士を目指す学生の様子を中心に講演、対象は本学の臨地実習を受け入れてくださっている施設の管理栄養士（2017年1月27日）
 - 8) 「食事パンの栄養的特性を食事バランス」、日本パン技術研究所研究調査部：主としてパンの製造や研究に関わる企業スタッフに対して、パンの栄養的特性とその特性を生かした食事バランスの整え方について講演（2017年3月3日）
 - 9) 「栄養指導（栄養教育）個人・集団を対象とした栄養指導-糖尿病-」神奈川県栄養士会：管理栄養士の障害教育研修会として栄養指導時に必要なアセスメントや具体的な指導法についての講演（2017年3月25日）
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
- 1) 外山健二、杉山みち子、五味郁子、向井友花、藤谷朝実．海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践．公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金.補助金金額不明．（2016年4月～2017年3月）
- 12 受賞
- 1) 神奈川県栄養士会より表彰（県民の栄養改善と栄養士会の発展寄与）
 - 2) 日本静脈経腸栄養学会より ESPEN-LLL の Diploma 取得に対する表彰

向井 友花 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Mukai Y, Hoshi F, Sato S. Effect of fructose on the phosphorylation of AMP-activated protein kinase and acetyl-CoA carboxylase in HepG2 cells stimulated with placental lactogen. *Birth Defects Research. Part B, Developmental and Reproductive Toxicology* 107(4-5):206-210 (2016).
- 2) Sato S, Mukai Y, Kataoka S, Kurasaki M. Azuki bean (*Vigna angularis*) extract stimulates the phosphorylation of AMP-activated protein kinase in HepG2 cells and diabetic rat liver. *Journal of the Science of Food and Agriculture* 96:2312-2318 (2016).
- 3) Kataoka S, Mukai Y, Takebayashi M, Kudo M, Acuram UR, Kurasaki M, Sato S. Melinjo (*Gnetum gnemon*) extract intake during lactation stimulates hepatic AMP-activated protein kinase in offspring of excessive fructose-fed pregnant rats. *Reproductive Biology* 16:165-173 (2016).
- 4) Sato S, Kataoka S, Kimura A, Mukai Y. Azuki bean (*Vigna angularis*) extract reduces oxidative stress and stimulates autophagy in the kidneys of streptozotocin-induced early diabetic rats. *Canadian Journal of Physiology and Pharmacology* 94(12):1298-1303 (2016).
- 5) 向井友花, 及川勉. 簡易グルタミン酸測定器の開発と利用. シンポジウム総説. *薬学雑誌* 136(10):1335-1343 (2016).
- 6) Tanaka M, Kita T, Yamasaki S, Kawahara T, Ueno Y, Yamada M, Mukai Y, Sato S, Kurasaki M, Saito T. Maternal resveratrol intake during lactation attenuates hepatic triglyceride and fatty acid synthesis in adult male rat offspring. *Biochemistry and Biophysics Reports* 9:173-179 (2017).
- 7) 外山健二, 向井友花, 杉山みち子, 五味郁子, 駿藤晶子, 高田健人, 古谷野伸, 中村丁次. ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメント及び給食管理の実態. *神奈川県立保健福祉大学誌* 14(1):35-42 (2017).

3 その他の著作

- 1) クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2017, 解説執筆. MEDIC MEDIA. 2016.7.2 発行.
- 2) 向井友花, 梅津園子, 齋田真理, 長瀬香織, 佐藤茉登佳. ハノイ医科大学病院の栄養ケア・マネジメントの実態調査結果. 外山健二, 杉山みち子, 五味郁子, 藤谷朝実, 向井友花. 平成 27 年度公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金普及啓蒙活動助成部門「海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践」実施報告書 pp16-31. 2017.3 発行

4 学会等での活動

- 1) 向井友花, 井口愛依子, 浅村碧, 星芙美香. 簡易測定器を用いたミニトマトのグルタミン酸測定および呈味性の評価. 第70回日本栄養・食糧学会大会, 2016年5月13-15日, 兵庫.
- 2) 山西倫太郎, 向井友花. β -カロテンによる RAW264 細胞のグルタチオン量亢進にレチノイドシグナル経路は関与しない. 第70回日本栄養・食糧学会大会, 2016年5月13-15日, 兵庫.
- 3) 外山健二, 向井友花, 谷口英喜, 五味郁子, 駿藤晶子, 牛込恵子, 高田健人, 古谷野伸, 杉山みち子, 中村丁次. ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメントの実態. 平成28年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2016年7月6日, 神奈川.
- 4) 向井友花. 簡易測定器を用いたトマトの呈味成分の定量. 第63回日本栄養改善学会学術総会, 2016年9月7-9日, 青森.
- 5) 星芙美香, 向井友花. ロイシンが肝細胞中の AMPK と mTOR の発現及び活性に及ぼす影響. 第63回日本栄養改善学会学術総会, 2016年9月7-9日, 青森.
- 6) 松本恵実, 向井友花, 片岡沙織, 佐藤伸. 妊娠期・授乳期に低蛋白食に曝された仔ラットの心臓中のマクロファージ浸潤に及ぼす緑茶抽出物の影響. 第63回日本栄養改善学会学術総会, 2016年9月7-9日, 青森.
- 7) 片岡沙織, 向井友花, 佐藤伸. 糖尿病ラットの腎臓における酸化ストレスおよびオートファジーに及ぼす小豆ポリフェノールの影響. 第63回日本栄養改善学会学術総会, 2016年9月7-9日, 青森.
- 8) 第63回日本栄養改善学会学術総会 モデレーター (生理・生化学セクション) 2016年9月7-9日, 青森.
- 9) 外山健二, 五味郁子, 向井友花, 駿藤晶子, 杉山みち子, 中原慎二, 山本茂, 中村丁次. ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学・栄養教育関連分野の教育支援の方法と課題. 第5回日本栄養学教育学会学術総会, 2016年9月10日, 青森.

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科4年担任.
- 2) 学部担当科目: 食品衛生学, 食品衛生学実験, 食品加工学, 食品学実験Ⅱ, 総合演習(栄養教諭), 外書購読, 総合演習(ゼミ), 卒業研究(担当4年5名, 3年4名).
- 3) 大学院研究科担当科目: 食品機能学特論, 栄養実践活動調査研究特論演習.
- 4) 大学院研究科 栄養学特別研究(修士1年1名)指導教員.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 副委員長 2016.4～2017.3
- 2) 動物実験専門部会 委員 2016.4～2017.3
- 3) 自己評価委員会 委員 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) 高大連携事業 高校生向け出張講座。「見えない生き物の世界 ～微生物と健康の関わり～」神奈川県立金沢総合高校, 2016年11月10日.

9 講演, 放送

- 1) 逗子市学校給食会講演会 講師「子どもの食の安全・安心 ～食中毒とその予防～」. 2016年6月9日.
- 2) 横浜市平成28年度食の安全を考えるシンポジウム「お弁当の安全安心を考えよう！」第1部講師「家庭で作るお弁当のリスクマネジメント」, 第2部シンポジスト. 横浜市社会福祉センター, 2016年11月19日.
- 3) 平成28年度子どもの食育支援研修 講師。「安全安心な食事提供をめざして 一食品衛生の基礎と実践～微生物学の視点から一」. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター, 2016年11月29日.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 佐藤伸, 片岡沙織, 向井友花. 胎生期の栄養環境による糖尿病の栄養センシング機構の解明とポリフェノールによる制御. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,700千円 (平成28年度分担金200千円), 2014.4～2017.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 向井友花. 妊娠期のフルクトース過剰摂取が母体のレドックスバランスに及ぼす影響に関する研究 ～培養細胞を用いた分子機構の検討～. 研究助成B (奨励研究), 220,275円, 2016.6～2017.3

14 その他

- 1) 青森県立保健大学大学院博士前期課程論文審査 副査

駿藤 晶子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 駿藤晶子. 新スタンダード栄養・食物シリーズ 15, 給食経営管理論, 9・3 児童福祉施設, 9・4 障害者福祉施設. 東京化学同人 (2016)

2 学術論文

- 1) 外山健二, 五味郁子, 向井友花, 駿藤晶子, 杉山みち子, 中原慎二, 山本茂, 中村丁次. ベトナム国ハノイ医科大学病院における栄養ケア・マネジメント及び給食管理の実態. (2017) 神奈川県立保健福祉大学誌,14(1)35-42
- 2) 樋口良子, 駿藤晶子, 片岡沙織, 中西朋子, 吉川達也, 鈴木志保子. 食生活振り返りツールとしての「食事記録色分析法」の有効性の検討. (2017) 神奈川県立保健福祉大学誌,14(1)15-23

3 その他の著作

- 1) 鈴木志保子, 駿藤晶子. ヘルシーダイアリー. 東京 :日本栄養士会 (2016)

4 学会等での活動

- 1) 外山健二, 五味郁子, 向井友花, 駿藤晶子, 杉山みち子, 中原慎二, 山本茂, 中村丁次. ハノイ医科大学栄養士養成課程における臨床栄養学・栄養教育関連分野の教育支援の方法と課題. 第5回日本栄養学教育学会 (2016.9)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本栄養学教育学会 幹事

6 学内教育活動

- 1) 駿藤晶子. 給食経営管理論 I・III
- 2) 山本妙子, 駿藤晶子. 給食経営管理論 II
- 3) 駿藤晶子, 山本妙子, 樋口良子. 給食経営管理論実習

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員会
- 2) 国家試験連絡担当

8 社会貢献

- 1) 駿藤晶子. 第66次三浦半島地区教育研究集会 養護教諭と栄養教諭・学校栄養職員の分科会にて「横須賀市の学校給食における食物アレルギーの対応について」共同研究者. (2016.10)

9 講演, 放送

- 1) 駿藤晶子. 平成 28 年度 特定給食施設等講習会及び栄養・食生活対策推進研修会「日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）の改訂と活用のポイント」講師. (2015.7)

飯田 綾香

1 著書

- 1) 杉山みち子、服部和美、飯田綾香（共同執筆）：第 10 章障がい者の栄養教育 事例 特別支援学級での栄養教育. 杉山みち子、赤松利恵、桑野稔子編著：カレント栄養教育論. 建帛社（東京）pp183-187、2016.5.

2 学術論文

- 1) Ryoko Yamamoto, Ayaka Iida, Ken Tanikawa, Hideki Shiratsuchi, Masaaki Tokuda, Toshiro Matsui, Tsuyoshi Nakamura. Dietary D-allose ameliorates hepatic inflammation in mice with non-alcoholic steatohepatitis. Food Sci Technol Res. 23, 319-327, 2017.

4 学会等での活動

- 1) 山元涼子、飯田綾香、谷川健、白土英樹、徳田雅明、松井利郎、中村 強. 希少糖 D-allose 摂取が非アルコール性脂肪肝炎の発症におよぼす影響. 日本食品科学工学会第 63 回大会（名古屋）. 2016.8.

6 学内教育活動

【学部担当科目】

- 1) 倉貫早智、飯田綾香. 生化学実験（必修）. 2016.4～2016.8
- 2) 倉貫早智、飯田綾香. 基礎栄養学実験（必修）. 2016.10～2016.12
- 3) 鈴木志保子、五味郁子、向井友花、高田健人、樋口良子、徳永美希、飯田綾香. 総合演習（栄養教諭課程）. 2016.4～2016.9
- 4) 山本妙子、鈴木志保子、飯田綾香. 教職実践演習（栄養教諭課程）. 2016.10～2017.2
- 5) 臼井正樹、飯田綾香. ヒューマンサービス総合演習（必修）. 2016.11～2017.2
- 6) 卒業論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室 4 年生 1 名担当.

【学部担当科目（臨地実習）】

- 7) 山本妙子、飯田綾香. 栄養教育実習（栄養教諭課程）. 2016.4～2017.3

【その他】

- 8) 山本妙子、飯田綾香、長谷川江都子. 実践教育センター「子どもの食育支援研修」. 2016.11～2017.2（5回）
- 9) 杉山みち子、五味郁子、佐野喜子、藤谷朝実、高田健人、徳永美希、樋口良子、長瀬香織、飯田綾香、長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 品質改善活動 中間・最終発表
- 10) 国家試験対策講義. 2016.10～2017.2（2回）
- 11) チューター担当.
- 12) 栄養学科卒業論文発表会運営.

7 学内各種委員会活動

- 1) 栄養学科教務委員補佐.
- 2) 栄養学科予算委員会.

8 社会貢献

- 1) 飯田綾香. ヨコスカ調理製菓専門学校 非常勤講師 (食品学). 2016.4～2017.3
- 2) 栄養学科オープンキャンパス準備運営担当.
- 3) 三浦フレッシュやさい栽培収穫体験.
- 4) 県営浦賀かもめ団地夏祭り運営協力. 2016.7
- 5) 日本老年行動科学会第 19 回神奈川大会 懇親会運営補助. 2016.9

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 中村強、飯田綾香. NASH 発症予防における希少糖 D-アロースの投与効果および栄養療法の探索研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 平成 28 年度分担金 300 千円, 2016.4～2017.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 栄養学科研究費、NASH 病態における酸化ストレスの影響. 150 千円、2017.

高田 健人

著書

- 1) 長瀬香織、高田健人、杉山みち子 (2016) . 5 章 8 「超高齢者のための食事・栄養」 . 女性医療の全て (p.258-259). 株式会社メディカルレビュー社

学術論文

- 2) Takada K, Tanaka K, Hasegawa M, Sugiyama M, Yosiike N (2017). Grouped factors of the “SSADE; Signs and Symptoms Accompanying Dementia while Eating” and nutritional status: an analysis of older people receiving nutritional care in long-term care facilities in Japan. International Journal of Older People Nursing, DOI: 10.1111/opn.12149
- 3) 杉山みち子、小山秀夫、加藤昌彦、榎裕美、宇田淳、高田和子、高田健人、大原里子、遠又靖丈、長瀬香織、苅部康子、堤亮介、松山紗奈江、藤川亜沙美 (2017). 平成 28 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)『介護保険施設における重点的な栄養ケア・マネジメントのあり方に関する調査研究事業』報告書. 一般社団法人日本健康・栄養システム学会
http://j-ncm.com/pdf/H28mhlw_Repo20170405.pdf
- 4) 高田健人、長瀬香織、杉山みち子 (2016). 特集・知っておきたい！高齢者の摂食嚥下障害—基本・管理・診療— 介護保険施設における摂食嚥下障害高齢者の経口維持と栄養ケア・マネジメント. Monthly Book ENTONI(株式会社全日本病院出版会)No.196
- 5) 大原里子、高田健人、吉池信男、杉山みち子、則武加奈子、戸波健一、品田佳世子、河口陽子、荒木考二、俣木志郎、小山秀夫.咀嚼機能が低下した要介護高齢者における栄養改善と義歯使用およびきざみ食の関連について.厚生の指標 63(15). 37-44. 2016.

学会等での活動

- 1) 長瀬香織, オクタウイジャヤ イスハク ハリム, 高田健人, 杉山みち子, 田中和美, 磯部壮一郎. 大和市要支援高齢者の食欲低下に影響を及ぼす生活機能、食環境要因.第 16 回 日本健康・栄養システム学会. 6 月 25, 26 日 (福岡) .

学内教育活動

<学部担当科目（必修・選択科目）>

- 1) 向井友花, 高田健人. 食品衛生学実験. 4/11- 5/30
- 2) 中田千恵, 松尾裕子, 高田健人. 生体機能学実験. 5/26, 6/2
- 3) 佐野喜子, 高田健人. 公衆栄養学実習. 10/5- 1/25
- 4) 杉山みち子, 高田健人. 栄養教育各論Ⅱ・栄養教育論実習. 12/6-1/31
- 5) 向井友花, 高田健人. 食品学実験Ⅱ. 1/27
- 6) 金 龍哲, 臼井正樹, 飯田綾香, 高田健人 他 ヒューマンサービス総合演習 11/29
- 7) 杉山みち子, 高田健人, 他. 外書購読. 4/7-7/28

8) 鈴木志保子, 五味郁子, 向井友花, 高田健人, 他. 栄養教諭課程総合演習. 7/12, 19, 28
 <学部担当科目(臨地実習)>

- 1) 佐野喜子, 高田健人. 公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ. 4/15, 5/9- 5/27, 7/18-22 (学内オリエンテーション・報告会: 4/5, 4/19, 4/20, 5/6, 5/24, 5/25, 7/2, 11/11)
- 2) 外山健二, 谷口英喜, 杉山みち子, 鈴木志保子, 倉貫早智, 牛込恵子, 駿藤晶子, 高田健人, 徳永美希. 臨床栄養学臨地実習Ⅱ.(介護老人保健施設スカイ 6/10 中間評価)

<学部担当科目(その他)>

1) 高田健人. 栄養学科国家試験対策特別講義「疫学・栄養疫学・食事調査法」10/5, 10/12
 <実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程担当科目>

- 1) 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)「情報の活用」6/11
- 2) 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)「文献レビュー」8/13
- 3) 五味郁子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織 長谷川江都子. 事例検討 (ヒューマンサービスを高める事例検討) 8/20, 9/10, 10/1
- 4) 杉山みち子, 佐野喜子, 外山健二, 高田健人, 飯田綾香, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)【中間発表】10/22【最終発表】12/10

<卒業研究等指導補助>

- 1) 卒業論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室(指導教員 杉山みち子)4年生4名, 3年生4名の卒論指導補助(指導教員のもと、文献検索・統計解析・論文作成に関する指導): ①婁欣「中国高齢者における栄養障害に関する文献レビュー」, ②福田嶺樹「地域在住高齢者の低栄養に関連する環境要因の文献レビュー」, ③村井夏子「「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究—ストラクチャー・プロセス評価—」, ④出口瑞穂「障害児・者の栄養ケア・マネジメントに関する文献レビュー」
- 2) 修士論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室(指導教員 杉山みち子)修士課程2年1名、1年1名の修士論文指導補助(指導教員のもと、研究計画・文献検索・統計解析等の指導): ①藤川亜沙美. 「介護保険施設入所高齢者の栄養ケア・マネジメントにおける効果的なミールラウンドのあり方に関する研究」

<その他>

- 1) チューター会における学生指導
- 2) オープンキャンパスにおける栄養学科学生指導

学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・入学式実行委員会
- 2) Hexagon 編集委員
- 3) 栄養学科臨地実習ワーキンググループ

科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高田健人 (研究代表者)、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、杉山みち子、中村丁次との共同研究事業：神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究 (初年度 2,807 千円) ※28-30 年度の 3 年間の継続事業

社会貢献

- 1) 「神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究」において、住民高齢者の栄養相談や栄養カフェによる栄養改善の取り組み、夏祭りへのボランティア参加 (研究代表者)
- 2) 神奈川県栄養士会 第 4 県民活動事業部会 イベント参加 (6/5 ふれあいフェスティバル)
- 3) 横須賀地区栄養士連絡協議会イベント参加 (4/3 うわまち浪漫さくら祭り、7/15 うわまち浪漫灯籠祭り)

その他

- 1) 神奈川県栄養士会 研究教育事業部会 ホームページ委員
- 2) 神奈川県栄養士養成施設協会 管理栄養士養成部会 臨地実習 (公衆栄養分野) 担当
- 3) 神奈川県立保健福祉大学同窓会栄養学科委員会「おむすびの会」事務局長

徳永 美希

2 学術論文

- 1) Tsuruta M, Takahashi T, Tokunaga M, Iwasaki M, Kataoka S, Kakuta S, Soh I, Awano S, Hirata H, Kagawa M, Ansai T. Relationships between pathologic subjective halitosis, olfactory reference syndrome, and social anxiety in young Japanese women. BMC Psychol. 2017 Mar 14;5(1):7.

4 学会等での活動

- 1) 徳永美希、畔野佳央理、丹羽政美、平野好幸、神田知子、丸山智美、久保金弥、安細敏弘、小野塚實、高橋徹. 鯉だし揮発性成分とグルタミン酸ナトリウムの混合摂取によるうま味増強に関する脳内における機序. 第70回日本栄養・食糧学会大会 2016年5月14日

6 学内教育活動

- 1) 外山健二, 藤谷朝実, 徳永美希. 臨床栄養学実習Ⅰ(必修科目)3学年. 2016.04～2016.07
- 2) 五味郁子, 徳永美希. 栄養教育各論Ⅱ, 栄養教育論実習(必修科目)3学年. 2016.10～2016.12
- 3) 山西倫太郎, 徳永美希. 食品学実験Ⅰ(必修科目)1学年. 2016.10～2017.01
- 4) 外山健二, 中島啓, 五味郁子, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ(必修科目)3・4学年. 2016.04～2017.03
- 5) 鈴木志保子, 五味郁子, 向井友花, 高田健人, 飯田綾香, 徳永美希, 樋口良子. 総合演習(栄養教諭)4学年. 2016.04～2016.07
- 6) 国家試験対策特別講義. 2016.10, 2017.1
- 7) 高田健人, 徳永美希. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開(品質改善活動)情報の活用,
- 8) 五味郁子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織, 長谷川江都子. 実践教育センター 事例検討(ヒューマンサービスを高める事例検討)
- 9) 杉山みち子, 徳永美希他. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開(品質改善活動)(中間発表, 最終発表)
- 10) 栄養学科進路支援担当補佐. 2016.04～2017.03
- 11) 特講・国家試験担当補佐業務
- 12) 栄養学科卒業論文発表会運営.

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス
- 2) 浦賀かもめ団地夏祭りのスタッフ

長瀬 香織

1 著書

- 1) 長瀬香織, 高田健人, 杉山みち子(2016). 5章 8.「超高齢者のための食事・栄養」女性医療の全て.p.258-259.東京.株式会社メディカルレビュー社

2 学術論文

- 1) 外山健二、杉山みち子、五味郁子、藤谷朝実、向井友花(2017).海外における栄養改善活動支援可能な国内の管理栄養士養成プログラムの実践 実施報告書.52頁.第4章4.長瀬香織.ハノイ医科大学病院訪問・国内の管理栄養士養成プログラムに参加して.公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金普及啓蒙活動助成部門.
- 2) 杉山みち子(委員長), 小山秀夫、加藤昌彦、榎裕美、宇田淳、高田和子、高田健人、大原里子、遠又靖丈、長瀬香織、苅部康子、堤亮介、松山紗奈江、藤川亜沙美他(委員)(2017).介護保険施設における重点的な栄養ケア・マネジメントのあり方に関する調査研究事業報告書,日本健康・栄養システム学会.178頁.平成28年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)介護保険施設における重点的な栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究報告書.52頁.日本健康・栄養システム学会.http://j-ncm.com/pdf/H28mhlw_Repo20170405.pdf

6 学内教育活動

〈学部担当科目(必須・選択科目)〉

- 1) 向井友花, 長瀬香織. 食品学実験Ⅱ.2016.10～2017.2
- 2) 外山健二, 中島啓, 藤谷朝実, 樋口良子, 長瀬香織. 臨床栄養学実習Ⅱ.2016.10～2017.1

〈学部担当科目(臨地実習)〉

- 1)外山健二, 五味郁子, 中島啓, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅱの運営補助.2016.10～2017.3
- 2)外山健二, 五味郁子, 中島啓, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰの事前指導, 中間評価.(衣笠病院, 神奈川県立こども医療センター, 神奈川県精神医療センター, 曽我病院) 2016.2～2017.3

〈学部担当科目(その他)〉

- 1) 栄養学科国家試験対策講義.2回.2016.10～2017.3

〈卒業研究等指導補助〉

- 1) 卒業論文指導支援.栄養ケア・マネジメント研究室(指導教員 杉山みち子).4年生1名の卒論研究として「地域在住高齢者の低栄養に関連する環境要因の文献レビュー」2016.10～2016.12
- 2) 外書講読指導補助.栄養ケア・マネジメント研究室(指導教員 杉山みち子).3年生4名の外書講読と文献検索の指導支援 2016.10～2017.3

〈その他〉

- 1) 第44回これから栄養士になる人の集い.2017.1
- 2) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」.事例検討, 中間・最終発表の指導支援.2016.10～2016.12
- 3) うみかぜ祭(大学祭)における食品分析加工実習室、調理学実習室の管理及び学生指導
2016.11

8 社会貢献

- 1) 大和市地域在住要支援高齢者の低栄養に関連する要因の検討(長瀬香織, 杉山みち子, 田中和美、市川政雄他)
- 2) 横須賀地区栄養士連絡協議会における活動の支援(樋口良子他)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1)高田健人、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、中村丁次との共同研究事業):神奈川県健康団地未病(低栄養)対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究(初年度2,807千円)※28-30年度の3年間の継続事業

樋口 良子

2 学術論文

- 1) 樋口良子, 駿藤晶子, 鈴木志保子. (2016.7) A乳児院の栄養士・管理栄養士の成長に影響する要素についての一考察. 保健福祉専門職の専門職としての成長を促進する要因に関する研究. 神奈川県立保健福祉大学地域貢献センター平成 27 年度研究助成報告書. 19-34.
- 2) 樋口良子, 駿藤晶子, 片岡沙織, 中西朋子, 吉川達哉, 鈴木志保子. (2017.3) 食生活振り返りツールとしての「食事記録色分析法」の有効性の検討. 神奈川県立保健福祉大学大学誌 14 (1). 15-23.

4 学会等での活動

- 1) 中西朋子, 吉川達哉, 樋口良子, 鈴木志保子. 幼児の体力と睡眠に関する研究. 第 3 回日本スポーツ栄養学会. 愛媛. 2016.7
- 2) 樋口良子, 鈴木美紀, 手塚千春, 向井洋子, 浜本幸江, 名古屋貴子, 杉山みち子, 峯尾武巳. 横須賀地区栄養士連絡協議会の多職種連携を目指した活動報告～顔の見える関係づくりに向けて～. 第 19 回日本老年行動科学会. 神奈川. 2016.9
- 3) 樋口良子, 鈴木美紀, 高田千春, 向井洋子, 浜本幸江, 名古屋貴子, 徳永美希, 山本妙子. 「横須賀地区嚥下調整食分類早見集」の活用について. 第 40 回神奈川県栄養改善学会. 神奈川. 2017.2
- 4) 樋口良子. 第 7 回横須賀地区 P D N セミナー, ランチョンセミナー「横須賀・三浦半島地区での美味しい嚥下食生活」座長. 神奈川. 2016.11

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 樋口良子. 横須賀地区栄養士連絡協議会事務局長. 2016.4～2017.3
- 2) 樋口良子. 横須賀市平成 27 年度在宅療養連携会議構成員. 2016.5～2017.3
- 3) 樋口良子. 横須賀市平成 27 年度在宅療養連携会議専門部会 広報啓発検討専門部会 部会長. 2016.5～2017.3
- 4) 樋口良子. 神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会横須賀三浦地区代表世話人. 2016.4～2017.3

6 学内教育活動

- 1) 給食経営管理論実習および臨地実習, 栄養教諭総合演習, 臨床栄養学実習Ⅱ, 教職実践演習, 応用栄養学実習. 2016.4～2017.3
- 2) 栄養教諭総合演習. 横須賀市児童相談所一時保護所子どもの現状についての講義. 2016.7
- 3) チューター会. 2016.4～2017.3
- 4) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」. 事例検討, 中間・最終発表の指導補助及び助言. 2016.8～2016.12

- 5) 国家試験対策特別講義（2回）. 2016.12
- 6) 食育サークル・シーラボ☆顧問として、献立作成指導及び活動に関する助言. 2016.4～2017.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 入学式・卒業式実行委員会. 2016.4～2017.3

8 社会貢献

- 1) 鈴木志保子, 樋口良子. 川崎市健康づくり教室. 栄養改善プログラムによる健康づくり教室（全3回）を実施した. 2016.11～2017.2
- 2) 食育サークル・シーラボ☆の顧問として「神奈川・食育をすすめる会」との共同でバランスアップメニューの季刊リーフレット作成, 神奈川新聞連載によるシーラボ☆ランチの紹介等により、県民の食生活改善サポートを行った. 2016.4～2017.3
- 3) 神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究において、かもめ団地対象者に個別栄養相談および栄養カフェを実施した. 2016.4～2017.3
- 4) 横須賀地区栄養士連絡協議会において、管理栄養士と多職種の連携推進を目的として「横須賀地区栄養食事相談窓口」を市内3か所に設置し、関係団体等に情報発信した. 2016.6～
- 5) 横須賀地区栄養士連絡協議会において、プリシード・プロシードモデルを活動展開モデルとして、在宅栄養ケア・食事支援の実践にむけた栄養相談プログラムパッケージ作成を推進した. 2016.7～2017.3
- 6) 横須賀市在宅療養連携会議広報啓発専門部会において「みんなで支える在宅療養シンポジウム」（2017.1.14）の企画推進に携わった. 2016.5～2017.1
- 7) 横須賀市在宅療養連携会議広報啓発検討専門部会において横須賀市在宅療養ガイドブック vol.2「ときどき入院・入所 ほぼ在宅」を企画し平成29年3月の発行に向け製作推進に携わった. 2016.5～2017.3

9 講演, 放送

- 1) 樋口良子. かもめ団地小規模多機能「なかよし」主催研修会「おいしく食べて元気にすごそう！」ミニレクチャー. 2017.3.30

11 学内研究助成金の受託

- 1) 樋口良子. 栄養学科研究費, 在宅療養連携における嚥下調整食指導支援に関する研究. 150千円. 2017

12 受賞

- 1) 樋口良子. 神奈川県優良栄養士表彰. 2017.5